



平成13年度指定 高指第98号

中村 喜久雄

【雅号】大誓・秀水 だいせん・しゅうすい

生年／昭和19年 指定技術名／銅器・ガス型



ちゅうきんふうけい「まなつのげんえい」

鑄金風景 「真夏の幻映」

斬新かつ繊細な作風で、彫刻的造形美を追求する鑄金作家であり、焼型、ガス型などの鑄造法を熟知した技術者である。作者の創造性の高い感覚と類稀な造形力により、水平線に浮かぶ峰の雲（入道雲）と対岸の景色に、蜃気楼のイメージを重ねた叙情性があふれたオブジェである。表面仕上げには、銀箔とプラチナ箔を用いて重厚な趣をたたえながら、鑄バリを造形に活かす斬新さで独特の躍動感が漂う作品である。

平成19年作

素材・技法／ブロンズ、銀箔、プラチナ箔・ガス型鑄造
寸法／高さ47cm×幅72cm×奥行10cm

〔表彰・受賞歴〕

- 昭和51年 高岡市市長賞
- 昭和52年 富山県展大賞
- 昭和53年 県展選抜展文部大臣賞
富山県教育功労賞
- 昭和55年 日本現代工芸展会員賞
- 平成23年 高岡市民功労者表彰
高岡市美術館芸術選奨
- 平成27年 第8回佐野ルネッサンス鑄金展大賞
第18回日本伝統工芸士会作品展
衆議院議長賞
- 令和 6年 第26回日本伝統工芸士会作品展
経済産業大臣賞

〔経歴〕

- 昭和35年 家業焼型鑄造に入り技術全般を習得
- 昭和47年 第4回日展に出品（～平成15年）
- 昭和48年 日本現代工芸展に出品（～平成15年）
- 昭和56年 先代外次郎死去により家業を継ぐ
- 平成 2年 焼型鑄造と合わせてガス型鑄造でも作品を発表する。その間、市展、市民展、県展、日展、現代工芸美術展、勤労者、女性、青少年美術展の審査員、また高岡自然休養村、県庁、出雲大社大分分祠、愛知医科大学、高岡短期大学（当時）、高山短期大学、高岡市美術館、国際柔道連盟等に作品制作
- 平成14年 高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
- 平成16年 伝統工芸高岡銅器振興協同組合後継者育成講習会（鑄造）講師
- 平成17年 北日本新聞社マンズリーアート「鑄金造形に魅せられて展」開催
- 平成18年 高岡市美術作家連盟委員長
- 平成25年 伝統工芸士認定
- 平成29年 高岡巧美会会長
- 平成30年 高岡地域文化財等修理協会会長